鳥取県協働提案・連携推進事業補助金(計画策定補助) 審査表(2)

番号	申請団体	事　業　名	事 業 内 容	金　額		個別評価								コメント等
				事業費総額	補助申請額	1.県と協働・連携して取り組む必要性(効果性)	2.発展性・モデル性	3.テーマ・地域性	4.公益性	5.先駆性	6.継続性	7.プレゼンテーション	合計	
						5点×2	5点×2	5点	5点	5点	5点	5点	45点満点	
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														

項　目		視　点
1	県と協働・連携して取り組む必要性(効果性)	◆ 県と民間が協働して事業を行うことで、各々が単独で行うよりも効果が高まると認められる内容であるか。 ◆ 県と民間の役割分担について、県に求める内容が明確になっており、相乗効果が期待できる内容であるか。(県がもっているノウハウ、知恵などをもとめているか)
2	発展性・モデル性	◆ 計画の実施段階で、他分野多方面に効果が及ぶと見込まれるか。 ◆ 他の協働・連携事業のモデルとなると認められる内容であるか。
3	テーマ・地域性	◆ テーマが具体的な県政の課題に対応した内容であるか。 ◆ 地域の実情や住民のニーズに即した内容であるか。 ◆ 地域資源や地域の魅力を活用した内容であるか。
4	公益性	◆ 地域社会に貢献する内容であるか。 (特定のものだけではなく、不特定多数の人々の利益に繋がる事業であるか。) ◆ 地域社会・住民によって必要性、重要性が高い内容であるか。
5	先駆性	◆ これまでにない新しい視点を持った事業か。 ◆ 課題解決の手法として先進性、先駆性があり、今後の協働事業のモデルとなり得るか。
6	継続性	◆ 本補助金が終了後に、継続、発展可能な事業であるか。 ◆ 継続的に事業を実施することが可能な組織であるか。
7	プレゼンテーション	◆ 事業の内容を時間内にわかりやすく説明ができるか。 ◆ 事業に対する熱意が感じられるか。 ◆ 質問に対し的確な回答できるか。

【点数基準】
- ◆よくできている　５点
- ◆まあまあできている　４点
- ◆普通　３点
- ◆あまりできていない　２点
- ◆できていない　１点

※県の担当課から提出された意見も参考にして採点する。